

国際的観点からの有害金属対策戦略策定基礎調査

50百万円(69百万円)

環境保健部環境安全課

1. 事業の概要

水銀をはじめとする有害金属の地球規模での汚染に関しては、平成21年2月の国連環境計画(UNEP)管理理事会において水銀規制に関する条約の平成25年までの制定を目指すことが合意されるなど、国際的な対策が強化されつつある。しかしながら、経済発展が著しいアジア太平洋地域では、有害金属の環境中への排出や各国間での移動の実態は十分に把握されておらず、我が国への影響も懸念されている。このため本事業では、以下の調査を実施する。

高精度の環境監視

国外から大気を介して我が国へ流入する有害金属の状況を把握するため、国内発生源の影響を受けない地域での高精度の環境監視を実施する。

水銀等有害金属の排出インベントリ及びマテリアルフローの更新

最新のPRTRデータ等を用いて、過去に作成した我が国における水銀等の有害金属の排出インベントリ及びマテリアルフロー(生産・消費・廃棄の流れ)を改定し、国内の有害金属の排出状況・流れを把握する。

アジア太平洋地域における水銀の将来濃度予測

水銀排出の我が国への影響が懸念されるアジア太平洋地域について、測定データ等を用いた長距離拡散・移動・蓄積モデルにより、地域の水銀排出量や濃度分布等を推計し、今後の排出削減対策の効果を予測する。

2. 事業計画

国際的な有害金属対策の推進に係る議論、特に平成25年に予定される水銀条約の制定に向けて、有害金属の排出実態の把握と解析を進め、我が国の対処方針の立案・実施に活用していく。

3. 施策の効果

大気経由や製品等に含まれて我が国に流入する有害金属の環境リスクの低減、及び有害金属排出削減に係る国際的取組への積極的な貢献が可能となる。

国際的観点からの有害金属対策戦略策定のための基礎調査

背景

国際的動向：平成25年までに国際的な水銀管理に関する条約の制定を目指すことに合意
(平成21年2月、国連環境計画(UNEP)第25回管理理事会)

世界的に最大の排出量を占めるアジア太平洋地域等の排出実態と我が国への影響は不明確
同地域における有効な削減対策の立案・実施を困難にし、条約交渉の過程にも影響

➡ 国内も含めたアジア太平洋地域における水銀等有害金属の基礎データ整備が必要

事業内容

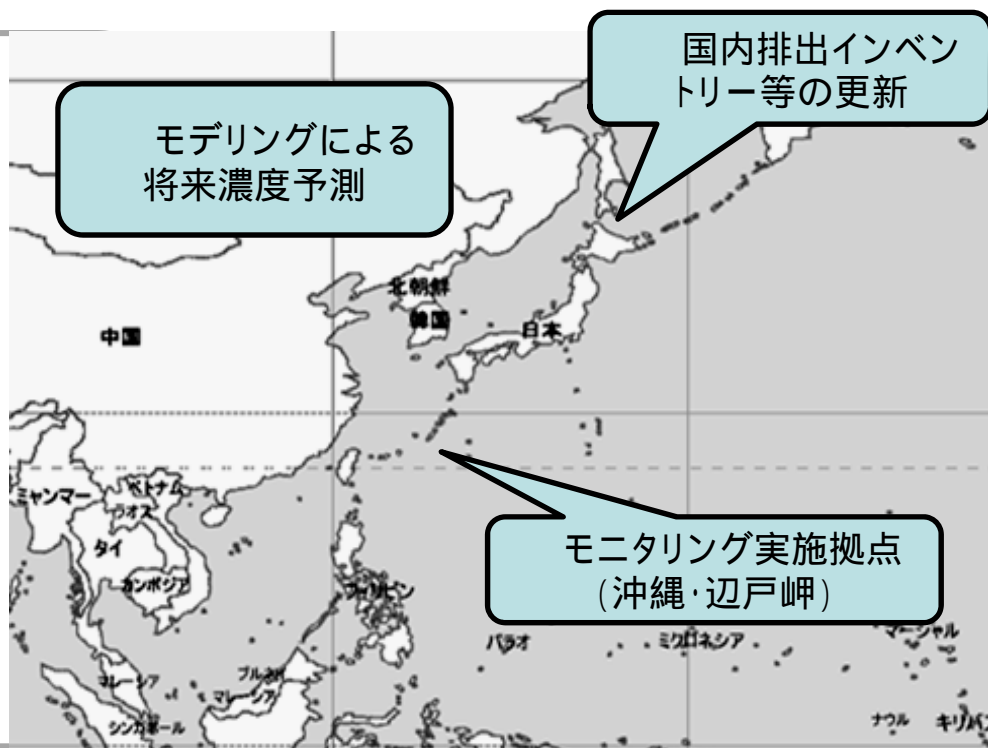
国内発生源の影響を受けない地域(沖縄県
辺戸岬)での高精度の環境監視

国内における水銀等有害金属の排出イン
ベントリー及びマテリアルフローの更新

国内の有害金属の排出状況・流れの把握

アジア太平洋地域における水銀の将来濃
度予測

- ・大気を介した同地域からの流入量の推計
- ・同地域における排出削減対策の効果予測



➡ 流入する有害金属の環境リスク削減、有害金属排出削減に係る国際的議論への積極的な貢献